



【先週 5月5日～5月11日の外食の出来事】

■木曾路、2019年3月期 通期の業績 増収増益

木曾路の2019年3月期 通期の業績は売上高450億8600万円(対前年同期比1.5%増)、経常利益25億6400万円(同12.5%増)、当期純利益16億5900万円(同24.6%増)と増収増益を確保した。

■グローバルダイニング、2019年12月期 第1四半期の連結業績

グローバルダイニングの2019年3月期 第1四半期の連結業績は売上高22億6500万円(対前年同期比3.0%減)、営業損失6100万円(-)、経常損失4900万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失5200万円(-)であった。

■ハチバン、2019年3月期 通期の連結業績 増収増益

ハチバンの2019年3月期 通期の連結業績は営業収益82億9100万円(対前年同期比8.4%増)、売上高76億8300万円(同8.7%増)、経常利益4億1200万円(同3.2%増)、当期純利益2億1000万円(同11.3%減)であった。

■「回転しない」で差別化の元気寿司、既存店売上3.7%増。年配客にフレンドリー

元気寿司株式会社が、2019年3月期決算は売上高420億34百万円、5.1%増。経常利益23億7百万円、32.2%増。増収増益となった。既存店では、客数2.3%増、客単価1.1%増で、売上高3.7%増と好調。

■KFC、既存店売上3.7%増 バリュー価格、ネット注文、デリバリーが鍵

日本KFCホールディングス株式会社の2019年3月期 決算は売上高743億44百万円、1.2%増。経常利益29億75百万円、374.3%増。直営既存店では、客数2.3%増、客単価1.4%増で、売上高3.7%増となった。

■APカンパニー、米国・中国不振店の減損15億円

エー・ピーカンパニーが、3月期決算で特別損失14億80千万円の計上を行う見込み。米国事業の一部及び、中国事業の全店舗、国内の不採算店舗の整理を進める結果、店舗整理に伴う減損損失等の特別損失を計上する。

■幸楽苑、不動産子会社を設立。出店ノウハウを外販。

幸楽苑が、子会社株式会社 Revolutionary・Development・Company を設立。店舗の開発から転貸、閉店業務まで行うプロパティマネジメント業務と、清掃や衛生管理、廃棄物処理等を行うファシリティマネジメント業務を担う。

■サガミ、セルフうどん「どんどん庵」を10年ぶり出店。郊外で食堂業態広がる。

和食麺処「サガミ」やうどん「味の民芸」などを展開する株式会社サガミホールディングスが、セルフうどん「どんどん庵」を豊田市で5月3日にオープンさせた。どんどん庵は、愛知県、岐阜県、三重県に34店舗を展開中。

■ロイヤルHD、第1四半期(2019年1月～3月)の連結業績 増収減益

ロイヤルホールディングスの2019年12月期 第1四半期の連結業績は売上高334億5800万円(対前年同期比3.1%増)、経常利益6億5000万円(同10.9%減)、四半期純利益3億500万円(同19.8%減)であった。